

はじめに

新潟県は平成16年の7月に新潟水害、10月に新潟県中越地震の2つの大きな自然災害を経験しました。長岡技術科学大学はこれらの自然災害に対して直ちに災害調査団を発足し、災害を科学的に調査するとともに今後の防災対策や災害研究に資するために調査結果を報告書に取りまとめ、シンポジウム等の開催により成果を社会に還元してきました。平成19年7月16日に再び、新潟県中越沖地震による大きな災害を経験し、短期間に三度災害調査団を結成して災害調査を実施することになりました。同年10月には速報版を取りまとめ、10月22日に柏崎市にて報告会を開催いたしました。本報告はその後、調査を継続した成果を最終的に取りまとめたものです。本報告書が今後の防災対策や復興支援、並びに災害研究の資料として活用されることを期待いたします。

新潟県中越沖地震では平成20年3月の統計にて、死者15人、重軽傷者2,316人、全壊1,324棟、大規模半壊857棟、半壊4,818棟の甚大なる被害が発生しました。被災地では災害の傷跡が未だ市内各所に残されており、正に復興の最中にあります。被災された方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、早期の復興をお祈り申し上げます。

また、本報告書を取りまとめる上で柏崎市をはじめ、刈羽村、長岡市、新潟県、国土交通省北陸地方整備局、その他関係機関に大変ご協力を頂きました。また、シンポジウム開催に当たり、(社)中越防災安全推進機構のご支援を頂きました。心より謝意を表します。

災害調査団長

長岡技術科学大学 環境・建設系
教授 大塚 悟